

はな 花咲 さき

国立病院機構旭川医療センターニュース 「花咲」

平成29年1月号／第63号

～わたくしたちの理念～

わたくしたちは、安全で質の高い医療を提供し、
患者さんの目線に立ち、信頼される病院をめざします。
国立病院機構の病院として、
みなさんの健康と幸福をいつも願っています。



ひがしかわ氷まつり 1月21日
撮影：齋藤貴之



新年のご挨拶	2
外来管理診療棟等建替整備着工	3
地域医療連携の集いを開催	4
1月23日(月)QC教育講演会を開催しました	4
感染予防は手洗いから	5
ふくふく	6
医療センター業務日誌『2017真冬編』	6
がん診療支援センターからのお知らせ	7

発行所／旭川医療センター

旭川市花咲町7丁目4048 番地

TEL (代)0166-51-3161

発行責任者／平野 史倫

ホームページ／www.asahikawa-mc.jp

(広報室より)

広報誌「花咲」は、幅広い方々に愛読されるような広報誌を目指しております。ご意見感想などございましたら、下記メールアドレスまでお願いいたします。

旭川医療センター広報室

E-mail renkei@asahikawa.hosp.go.jp



新年のご挨拶

旭川医療センター 院長 西村 英夫

新年、あけましておめでとうございます。今年は酉年です。どのような年になるのでしょうか。名前のごとく、羽ばたける年になればいいのですが、なかなか医療情勢は見通せない状況です。そのなかで、当院は今年も地域の病院としてきちんと診療を行うスタンスでいきたいと考えていますので、みなさまよろしくお祈りします。

さて、当院は数年来、計画してきた新外来棟の建設が始まります。奥の旧8病棟の部分から工事が始まっています。これから徐々に春夏にかけて工事が本格化すると、入院、外来の患者さんにもご迷惑をかけるかもしれませんが、今後数十年の将来のための産みの苦しみと考えて、ご容赦ください。完成予定の模型や、完成の院内予想図が院内薬局の前にありますので、ご覧いただけましたら幸いです。新外来棟とは言っても病棟以外の部分をすべて新築するので全面的な移転新築と同じで、外来、リハビリ、検査、放射線、栄養、医局、会議室などが整備されます。特に救急部門は当院でも、手狭な中での現在の運用には限界があり、2倍以上のスペースを取り、救急車2台にも同時に対応できるようにします。現在は救急患者さんの移動は外来患者さんの前を通るような状態でしたが、救急外来から、直接病棟、手術場に直結するルートができます。これからの高齢化時代を迎え、高齢者救急にこの地区で充分対応するべく施設整備をします。また現在は、やや手狭な外来待合室の拡充、診療科の増設に伴う診察室の増設を考えています。また、広めの一部吹き抜けのガラス張りの外来ホールでコンサートやいろいろな催し物ができればと考えています。

2018年春には、医療保険、介護保険、自立支援法のトリプル改定を控え、病院経営はますます厳しくなり、医療と介護の連携が今以上に求められる時代になります。旭川の花咲の地で30年40年後もここで病院が存立して、地域住民の信頼に足る病院でなければいけないと考えています。

当院は、在宅療養後方支援病院であります。来年度地域医療支援病院も目指しています。介護に関して、在宅、施設で対応できないときの受け皿として支援します、また地域の診療所と連携しての病院機能を高めていきたいと考えています。患者さん向けの講演会、勉強会はもとより医療関係者向けの講演会、症例検討会を充実させます。また、当院は研修医の修業の場でもあります。昨年も当院独自の研修医以外に旭川医大、市立旭川、さらには東京医療センターなどから研修医が来ています。後期研修の新しい専門医のプログラムも参加開設する予定で、医師、看護師、コメディカル（栄養、放射線、検査、リハビリ等）の研修病院としてもきちんと行い、地域に還元していく姿勢を保ちます。また一昨年からは当院退院の方を主に対象に当院のベテラン医師が訪問診療も開始しています。どうしても、病院に来れない、在宅での医療を望まれる方などはどうぞ、ご相談ください。これらは、主治医、担当医と相談の上、内科外来でいろいろとご要望などを承っています。どうぞ、ご利用ください。

さて、世の中は相変わらず、いろいろと不透明な中ではありますが、医療に関しては旭川医療センターにお願いすれば大丈夫という病院になれるように、地道に職員一同頑張りますので本年もよろしくお祈りします。

外来管理診療棟等建替整備着工 —平成 32 年完成予定—

この度、外来管理診療棟等の建て替えを行うにあたり、平成 28 年 12 月 6 日請負業者が入札で決定し工事がスタートしております。

本整備は病棟以外ほぼ全ての建て替えを計画しており、完成までに3年以上を要する大規模な工事です。建て替え場所は、現在の病棟から中央廊下を挟んだ反対側で、現在のリハビリテーション棟、サービス棟（給食、ボイラー部門など）を解体し、そこに4階建ての建物を建設します。

新築の外来棟は、待合室が広く明るくなることはもちろんですが、長年、患者さんにご不便をおかけしていましたトイレなどアメニティの改善に配慮した設計となっています。

また、放射線治療装置等の高額医療機器の更新も併せて行い、より一層、安全で質の高い医療の提供を目指すこととしています。

工事は、既存の建物を解体し、その場所に新築するという工程になりますので、当院に受診の患者さん、面会に来られるご家族の方々、近隣住民の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、最大限の注意を払い工事を進めさせていただきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



完成模型を挟み請負業者4社と院長、副院長

○建替計画概要

1 準備工事

(平成 28 年 11 月～平成 29 年 5 月) 仮設のリハビリ室等の設置、建物一部解体

2 一期工事

(平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月) 新外来管理診療棟一部（約 1 / 3）新設

3 二期工事

(平成 30 年 3 月～平成 31 年 10 月)
新外来管理診療棟（約 2 / 3）新設

4 三期工事

(平成 31 年 11 月～平成 32 年 8 月)
外構部改修、現外来管理診療棟解体



外来ホール完成イメージ



旭川医療センター完成イメージ（左側：新外来棟、右側：既存病棟）

※上記の年月は計画ですので変更する場合があります。

地域医療連携の集いを開催

地域医療連携室 副看護師長 **藤信 真吾**

第 291 回症例報告会地域医療連携の集いを 1 月 16 日(月)アートホテル旭川において開催しました。当日は当院の職員を含め 80 名以上の方にご参加いただき、「リンパ節腫脹について」総合内科 安尾 和裕医師、「肺炎、肺結核以外の呼吸器感染症」呼吸器内科 高橋 政明 医師のミニレクチャーを 1 時間ほど行い、その後地域医療連携の集いを行いました。昨年は診療報酬改定では、これまで以上に地域連携・顔の見える関係の重要性が増して来ていますので、親睦を深める良い機会でした。

当院では引き続き、紹介患者さん・救急患者さんの受け入れ強化を進めており、地域医療連携室にはソーシャルワーカー 3 名、看護師 2 名、事務 1 名が在籍しております。お問い合わせやご意見・ご要望等ありましたらぜひお気軽にご連絡下さい。今年もよろしくお願いたします。



1 月 23 日 (月) QC 教育講演会を開催しました

臨床検査科部長 QC 委員 **玉川 進**



講演中の様子。発表する玉川進

QC とは別名「カイゼン運動」とも呼ばれるもので、仕事上の創意工夫によって作業効率を上げたり、顧客満足度を上げたりする活動のことです。当院では QC 活動の成果を年度末に発表することになっています。

私は当院の QC 発表会で審査委員をしているのですが、活動の内容は良くても発表の仕方が悪いために成果を伝えられない活動が数多くありました。ではどうすれば活動をアピールできるかを教えるのがこの講演会の目的です。

会場には発表を控えた多くの職員で満員になりました。私からの説明のあとには多くの質問が出たことも、関心の高さを示しているようでした。

今回の講演に沿って、できるだけ多くの発表者が自分たちの努力を正しく伝えられるように願っています。



清野しのぶ看護部長からのアドバイス



質問を受ける

感染予防は手洗いから

感染管理認定看護師 副看護師長 木元 史子

寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

ノロウイルス・インフルエンザの予防には手洗いが欠かせません。

やっているつもりでもなかなか出来ない手洗いのお話しをしたいと思います。

●何故手洗いは必要なのでしょうか？

手洗いは手についた**病原体を取り除く**ことにより、自分自身や他の人にうつさないようにするための行為です。**感染経路の遮断行為**と言われております。



●風邪や胃腸炎はどのように感染するの？

病原体は歩いて移動するわけではありません。主に手や共用物品（環境）を介して運ばれます。例えば、くしゃみをして手に污染がついたまま**テーブル・電話・ドアノブ**等に触れると、次に触れた人の手指に病原体が移動をして、鼻や口から病原体が入ります。胃腸炎・インフルエンザ・風邪等はそのような感染経路で発症します。



●石鹸での手洗いとアルコール消毒どちらが効果的？

アルコールの方が消毒効果は高い。

細菌の減少による比較

アルコール消毒30秒間：細菌の減少1/3000

石鹸での手洗い30秒間：細菌の減少1/60～1/600

※但し、手に污染が付着している場合や

アルコールの効かない病原体（ノロウイルス等）には石鹸と流水による手洗いが必要です。



●ノロウイルスは何故、一度に沢山の人が感染するの？

①感染力が強いから

症状のある人の吐物1g：1億個以上のウイルス、
症状のある人の便1g：100億個以上のウイルスが含まれます。



そのうち数個から数十個で感染します。

②消毒薬に抵抗性（アルコール効果薄い）

③環境での生存期間が長い（20℃で20日間）

※しっかり手を洗うことで、感染を防ぎましょう。



●家族が発症した際は要注意！

- ・流水と石鹸での手洗いを徹底する。
便・吐物を処理した後はしっかり洗う。
- ・タオルの共用はしない。
- ・トイレのレバーやドアノブ等を0.05～0.1%の次亜塩素酸ナトリウム（ハイター等）で消毒をする。
(便や吐物が付着した場合は0.1%)



●どのような場合に手を洗うと効果的か？

- ・帰宅時
- ・調理や食事の前
- ・トイレの後
- ・公共物に触れた後
(手すり・ドアノブ・スイッチ・つり革・電話等)
- ・他の人にうつさないためにも、くしゃみや咳をして手で押さえた後にも行いましょう。



●手洗い方法

時計は外し、20秒以上かけて指先・指の間・親指・掌・手の甲・手首まで洗いましょう。水気はしっかり拭き取りましょう。

外す



●手荒れ対策は？

- ・手荒れを起こす前に保湿・保護クリームで予防
- ・お湯で洗うと油分が落ちるため、水または冬場は30℃前後の微温湯で洗いましょう。
- ・石鹸はよくすすぎましょう。
- ・水気をよく拭き取りましょう。
(残っていると角質の水分まで蒸発します。)



正しい方法と適切なタイミングで感染予防をしましょう

ふくふく

職場紹介 ～1病棟編～

1病棟 副看護師長 大谷 直美

こんにちは。今回は私の所属する1病棟の紹介をさせていただきます。1病棟は、筋ジストロフィーや神経難病の患者さんを中心とする療養介護病床と一般病床の混合病棟です。患者さんは、療養しながら生活をする場として長期入院されている方が多く、院内で唯一療養介助員も配属されており、看護師と一緒に患者さんのケアをさせていただいています。

病棟では、入院患者さんに楽しい時間を過ごしてもらえよう様々なイベントを行っています。昨年は、レクリエーションとして男女対抗ボール運び競争をしたり、患者さんと一緒に作成した模擬スイカを使用してのスイカ割り、クリスマスリースの作成などを行いました。また、栄養管理室の協力によりイベント食としてラーメンやスイーツの提供をしました。12月のクリスマス会では、職員によるハンドベル演奏やAICE



バンドの演奏と一緒に患者さんが歌を歌ったりして共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

長期入院の患者さんの療養生活が少しでも楽しく潤いのある時間となるよう今後も企画、運営していきたいと思っています。

医療センター業務日誌

『2017 真冬編』

ー 20度を下回るような気温になったかと思ったら、2日後には-2度まで温度が上がり、雨が降ったかと思ったらその翌日には台風のような風と大雪に見舞われる一週間がありました

TVではお天気お姉さんが「気候の変化で体調を崩さないように」と優しくいってくれますが、実際にはそんなうまくは行かず大量の雪を片付けるため4時間もかけて除雪をして体はボロボロです みなさんはお元気にお過ごしですか？

いまの家は少々の大雪では潰れるようなことはないと言われていきます、どうしても雪下ろしをする時には年齢と体力に相談をして絶対に無理をしないで病院のお世話になるようなことはないようにしたいものです

そんな話をしていたら、病院の正面にあるアーケードに積もった雪の量に“ビックリ”北側には1分近く雪が… 年齢と体力に相談すると「誰だ!こんな面倒なものを作ったのは」「北国なのだから雪下ろしが必要のないように頑丈に作れ!」とつつい文句を言いながら1時間の作業が無事に終わりました。(S.B)



がん相談支援センターよりお知らせ

がん性疼痛看護認定看護師 大坪 聡織

昨年の10月にがんサロンで「おしゃれ大会」を開催したことをきっかけに（株）アデランスさんのご協力もあり、当院がんサロンでもウィッグの見本を展示させていただくようになりました。今まではご相談をいただいてもカタログを見ながらお話することしかできなかったのですが、今はウィッグとはどんなものかを見て、触って、試着していただけるようになりました。また、当院の売店でも取り扱っている「ケアぼうし」のメーカーであるQOL 総合研究所さんからも毛付きぼうし「ラピス」の見本を送っていただきましたので、こちらも展示しております。毛付きぼうしは帽子をかぶる感覚で使用できるものです。ウィッグも毛付きぼうしもそれぞれ長所・短所があると思いますので、皆さんの生活状況に合わせて選んでいただければと思っています。もちろん、この2社以外のパンフレットも取り扱っておりますので、がん治療の影響で頭髪にお悩みがある方は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

今年のがんサロン「縁佳話」では外見ケア（アピアランスケア）のお手伝いも積極的にさせていただきたいと考えております。がん治療でおしゃれを諦めることがないよう、私たちも何かお手伝いができればと思っております。今後ともよろしく願いいたします。



地域住民セミナーのお知らせ

テーマ 「神経内科のお話」

神経内科について、わかりやすくお話させていただきます。
入場は無料です。どなたもお気軽にお越しください。



講師：木村隆（統括診療部長・脳神経内科部長）

日時：平成29年3月18日（土）

午前10時30分より11時30分

場所：旭川医療センター大講堂

（正面入口を直進、つきあたりを左へ）

外来担当医表

受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで

〔 再来受付機は午前8時。 〕

〔 ※当院の再来受付は予約制（小児科を除く）となっています。 〕

※この予定表は都合により変更となる場合がございますので、ご了承願います。

平成 29 年 1 月 30 日現在

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	診察室⑤	高橋 政明	黒田 光	山崎 泰宏		山崎 泰宏
	診察室⑥	藤田 結花	堂下 和志	黒田 光	藤田 結花	高橋 政明
	診察室⑦	堂下 和志	辻 忠克	藤兼 俊明	藤兼 俊明	辻 忠克
	疾患センター外来 COPD (慢性閉塞性肺疾患)		副センター長 黒田 光 診察室⑤	センター長 山崎 泰宏 診察室⑤		
	午後診療 13:00～14:00 (予約診療のみ)		(新患) 禁煙外来 (予約制)			
脳神経内科	診察室③	(再来) 黒田 健司	(新患) 鈴木 康博	(新患) 新患担当医	(新患) 黒田 健司	(再来) 鈴木 康博
	診察室④	(新患) 木村 隆	(再来) 木村 隆	(新患・再来) 油川 陽子	(再来) 木村 隆	(新患) 吉田 亘佑
	診察室⑫		(再来) 油川 陽子		(再来) 吉田 亘佑	
	診察室⑨	物忘れ外来 (予約制)				
	午後診療 (予約診療のみ)		(再来) 野村 健太 診察室③		(再来) 岸 秀昭 診察室③	(再来) 黒田 健司 診察室③ (再来) 坂下 建人
	疾患センター外来 パーキンソン病	センター長 木村 隆 診察室④				
消化器内科	診察室①	(再来) 斉藤 裕樹	(再来) 高添 愛	糖尿病(新患・再来) 柏谷 朋	(新患・再来) 斉藤 裕樹	(新患・再来) 高添 愛
	診察室②	リウマチ(新患・再来) 平野 史倫	リウマチ(新・再) 平野 史倫	(再来) 西村 英夫	糖尿病(再来) 柏谷 朋	(再来) 西村 英夫
	診察室⑫	(新患・再来) 横浜 史郎				リウマチ(再来) 平野 史倫
	特殊外来	(甲状腺) 平野 史倫 診察室②		(リウマチ・骨粗鬆症) 平野 史倫 診察室⑨		
	疾患センター外来 糖尿病・リウマチ	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室②	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室②	副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室①	副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室②	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室⑫
循環器内科	診察室⑧	石田 紀子	藤井 聡	石田 紀子	石田 紀子	出張医
総合内科 受付13:30～15:00 紹介ありの場合 16:00まで	午前診療			(再来) 安尾 和裕 診察室⑫	(新患・再来) 横浜 史郎 診察室⑨	(新患・再来) 安尾 和裕 診察室⑨
	午後診療 診察室⑤	(新患・再来) 安尾 和裕	(新患・再来) 安尾 和裕	(新患・再来) 辻 忠克	(新患・再来) 安尾 和裕	

※月曜日の物忘れ外来は予約診療となり、脳神経内科の医師が輪番で行います。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科 一般外来	午前	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②	診療援助 診察室①
	午後	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②		診療援助 診察室②	

※小児科一般外来午後の受付時間は、午後1時30分から午後4時となっております。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科 発達神経外来	午前		長 和彦 診察室①		長 和彦 診察室①	
	午後		長 和彦 診察室①	長 和彦 診察室①	長 和彦 診察室①	

※小児科発達神経外来は初診・再診とも完全予約制となっております。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
外科	診察室①	渡邊 一教	永瀬 厚 (完全予約制)			本望 聡
	診察室②	青木 裕之				前田 敦
	透析	透析		透析		透析

※外科は火、水、木曜日は手術日です。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
放射線科(治療)	診察室⑨/放射線科診察室		宮野 卓 診察室⑨		宮野 卓 放射線科診察室	

予約変更、問い合わせについて

予約変更、予約内容の問い合わせは午後2時～午後4時30分の間をお願いします。

☎ 0166-51-3161